

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぞうさん長丘教室				
		公表日 令和 7 年 4 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指定基準以上のスペースを確保している。 利用人数や活動の内容に応じてスペースの確保ができるよう、工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		職員を加配し、基準を順守した配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		児童がどう過ごすか理解できるよう、空間を仕切っている。 階段があるため、使用時には見守りや必要に応じて補助を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃箇所の一覧表を活用し、毎日の掃除、消毒を徹底している。 活動に応じてスペースをわけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	クールダウンが必要な際や体調不良時には個室を使用している。	個室が少ないため、必要に応じて代わりとなるスペースの確保を行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝礼や終礼、ミーティング等で意見交換や情報共有を行い、業務分担の見直し等、業務改善に努めている。	パート職員も含めてミーティングができる時間を増やしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様からのご意見を真摯に受け止め、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼や終礼、ミーティング等で意見を把握する機会を設け、業務改善に努めている。	今後、より意見交換等がしやすい環境を整え、業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		外部評価を行っていないため、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	内部研修を行い、職員の資質向上を図っている。	今後、外部研修の受講を検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		半年に1回以上アセスメントを行い、児童と保護者のニーズに沿った個別支援計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		日々の様子を職員間で共有し、課題に応じて目標や支援内容の検討を行っている。	より細かく、現状の把握や目標設定、支援内容の検討をしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画は職員に共有されており、すぐに確認ができるようにしている。 計画に沿って日々支援内容、目標を検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		事業所でアセスメントシートを作成し、活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		アセスメントや保護者様、ご本人のニーズを踏まえて、職員間でミーティングを行い、必要な項目、支援内容の設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月職員間でアイデアを募り、活動の立案をチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の行事やイベントを行っている。 活動を立案する際に、過去の活動を参照し、固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団活動を中心に、状況に応じて個別活動を組み合わせた計画を作成し、支援を行っている。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝礼を行い、職員間で支援やその日の活動内容を共有し、支援内容や役割分担の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日終礼を行い、その日の支援について振り返りを行っている。また気づいた点や保護者からの連絡事項等の共有も行っている。終礼時の内容を記録に残し、全職員が確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		集団活動の記録、利用児童毎に個別支援計画書に基づいた記録を毎日作成し、モニタリング等に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回以上モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	6		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えて支援を行っている。	地域交流については今後実施内容を検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		余暇活動の際にやりたいことを選択してもらったり、その時の状態に応じて活動への参加等を選択・決定してもらっている。買い物支援等で生活における決定や選択をする機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参画している。	今後、状況に応じて担当職員等、他の職員の参画も検討していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		送迎時に学校の担任の先生と直接情報共有を行い、連携している。事業所とは必要に応じて連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		行事予定や下校時間に関しては主に保護者の方を通じて情報を共有している。必要に応じて学校とも確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	相談支援員や保護者の方からの聞き取り、書面での記録を基に情報を共有している。	必要に応じて、児童発達支援事業所や保育園等の訪問等を検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	現在、対象児童なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後、地域の児童発達支援センターとの連携を図っていく。研修への参加を行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	外出や公園等での活動時には他の児童と関わる機会がある。	積極的な交流は実施できていないため、交流方法等を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		参加ができていないため、今後参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に情報の共有を行っている。必要に応じて面談等でも情報の共有を行っている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		適宜、電話や面談等で相談や情報共有を行い、家族支援を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行い、質問があればその場で答えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時、送迎時、半年毎の面談時、相談があった際等にご本人、保護者の方のニーズを確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		提示しながら説明を行い、同意していただいたうえで、署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や面談時、電話等で相談を受け付け、支援方法等を提案している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会を開催し、保護者の方同士、きょうだいの方同士で交流する機会を設けているが、本年度は、きょうだいの方の参加人数が少なく、きょうだいの方同士の交流はなかった。	きょうだいの方同士での交流ができる機会を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情相談窓口、苦情解決責任者を設置し、保護者の方にも契約時に説明している。苦情があった際には迅速に対応している。	

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		必要に応じてお知らせを発行している。活動の様子や行事予定はSNS（インスタグラム）にて発信している。また、毎月保護者の方に活動時の写真をお送りし、様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫にて管理している。 廃棄書類はシュレッダーを使用して破棄している。 SNSにおいては個人が特定されないように配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個人の状態に応じて絵カードの使用等、個別に対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	事業所外での活動時に地域の方と交流する機会はあるが、地域住民を招待する等、積極的な交流はできていない。	地域との交流に関しては、保護者の方のご意見を伺いながら、実施内容等を含めて検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。	保護者の方への周知は不十分なため、いつでもご覧いただけるように事業所にマニュアルを常時設置する。契約時等にも詳細な説明を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを作成し、職員、利用者様ともに定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認を行っている。 服薬等に変更が生じた場合は情報共有を保護の方に依頼するとともに、定期的に支援員からも変更がないか確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書に基づく対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間計画を立て、安全点検や研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者様に書面にて配布を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットについて記録し、職員間で再発防止策の検討、危険箇所の確認等を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止のための研修や事例検討を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に保護者の方に説明をしている。	今後も身体拘束の適正化を図るため、研修等を実施していく。